

平成 22 年の火災・救急・救助概況



火災

▲は減少を示します

区 分	平成22年	平成21年	増 減
火災件数合計(件)	110	109	1
建物火災	66	56	10
うち 住宅火災	38	34	4
林野火災	5	10	▲ 5
車両火災	11	12	▲ 1
船舶火災	0	0	0
その他の火災	28	31	▲ 3
死者(人)	9	6	3
うち 住宅火災	7	3	4
負傷者(人)	11	13	▲ 2

平成 22 年中に市内で発生した建物火災は 66 件で、そのうち住宅火災は 38 件でした。

火災による死者は 9 人で、うち住宅火災による死者は 7 人、車両火災 1 人、その他の火災 1 人でした。住宅火災で亡くなられた 7 人のうち 3 人(3 人とも 65 歳以上)は逃げ遅れによるものとみられ、これらの住宅には住宅用火災警報器は設置されていませんでした。

津市における住宅用火災警報器の推計設置率は、平成 22 年度調査で 65.3% となっていますが、火災が発生した住宅では、約 29%(38 件中 11 件)と、設置率が低いという傾向がみられました。



救急

区 分		平成 2 2 年	平成 2 1 年	増減
出動件数		12, 224	11, 572	652
搬送件数		11, 312	10, 693	619
搬送人員		11, 532	10, 925	607
主 な 事 故 種 別	急 病	7, 416	6, 997	419
	一般負傷	1, 841	1, 744	97
	交 通	1, 469	1, 357	112

平成 22 年中の市内における救急出動件数は 12,224 件で、前年に比べ 652 件の増加となり過去最高の出動件数となりました。前年と比較し、急病、交通、一般負傷の増加がみられます。

事故種別でみると、例年同様急病が 7,416 件で最も多く、次いで一般負傷の 1,841 件、交通の 1,469 件の順となっています。

また、傷病程度では、全体の約半数が軽症者で占めており、この中にはタクシー代わりとみられる救急事案も散見されることから、救急車の適正利用について御協力をお願いします。



救助

区 分		平成 2 2 年	平成 2 1 年	増減
出動件数		118	157	▲ 39
活動件数		56	81	▲ 25
救助人員		53	81	▲ 28
主な事故種別	交通事故	74	98	▲ 24
	火 災	7	3	4
	水難事故	5	8	▲ 3
	建物等による事故	5	10	▲ 5

平成 22 年中の市内における救助出動件数は 118 件で、前年に比べ 39 件の減少となりました。

事故種別でみると、火災が 7 件で、4 件の増加となりましたが、その他は減少し、最も多いのが交通事故の 74 件で、全体の 62.7% を占めています。

火災の救助件数が増加したのは、建物火災が増加したことが大きな要因と考えられます。また、救助人員は 53 人でした。